

令和 5 年度テーマ活動報告

【テーマ1】 ニシカタ地区まちなみづくり検討

テーマ	ニシカタ地区まちなみづくり検討
-----	-----------------

■ テーマ活動の基本情報

部会	景観・歴史文化部会
ゴールの設定 (テーマ活動の目的)	・首里杜地域固有の風土や文化など、歴史的景観に調和した景観形成を図るため、都市景観形成地域（重点地区）の拡充を見据えた取組みを進める。
今年度目指す 具体的な成果	景観に関する住民意識やその課題について整理し、地域と行政で価値観や課題を共有する。
今年度の活動内容	対象：ニシカタ地区 ・景観上の課題の抽出 ・現地調査 ・先行指定地の事例の共有

■ テーマ活動の企画

第 1 回	活動内容	ニシカタ地区対象範囲の居住者へアンケート調査を実施
	獲得成果のイメージ	現時点での景観に関する意識等の基礎データ
	活動場所	対象地区全域
	活動日時・時間帯	配布：令和5年9月30日～10月7日（予定） 回収：令和5年10月1日～10月31日
	必要な資材等	紙類：A4（依頼文）800枚、（調査票）800枚 A3（ポスター）40枚、A2（ポスター）40枚 封筒返信用含む：1600通 返信用切手：（10円・100円）各240枚※郵送の返信率を3割と仮定 段ボール（回収箱）：6箱分※各自治会・包括へ設置 ※印刷に係るものについては、不明
	その他	（那覇市）企画・配布・回収・取りまとめ等は市職員が担当、 （地 域）掲示板へのポスター掲示や、住民への周知は自治会及び、 包括が担当
参加呼びかけ対象		特になし
第 2 回	活動内容	アンケート調査結果の報告と、ゆんたく会
	獲得成果のイメージ	調査結果による現状把握、意見交換による新たな発見や、課題の共有
	活動場所	首里公民館
	活動日時・時間帯	令和5年11月末頃
	必要な資材等	映写機器一式、音響機器一式、模造紙や付箋紙、各種筆記用具 等
参加呼びかけ対象		城西小校区まち協、地域事務局、アンケート回答者 等

■第1回記録（アンケート調査）

○日 時：2023年10月1日（日）～10月31日（火）

※ポスティング配布は10月2日（月）に実施

○場 所：ニシカタ地区

○対 象：地区内の戸建住宅及び分譲マンション管理組合

○配布数：678件

○回答数：222件（回答率：32.7%）

○目 的：

- ・より良い景観形成を図るためには、地区ごとの特性に合った、きめ細やかなルールを地域住民の方々と共に設定する必要があることから、ニシカタ地区の現状と課題、今後の景観に対する考えを把握、共有することを目的にアンケート調査を実施。

○概 要：

- ・80歳以上の回答率がトップで、地域に愛着を持つ方が9割以上。
- ・景観への関心度は9割の方が関心があると回答した一方、歴史・文化の認知度は半数ほど。
- ・金城町や龍潭通り沿線のような景観に関するルールの導入について、7割を超える方が前向きな姿勢であることが確認できた。

■第2回記録（ゆんたく会）

○日 時：2023年11月18日（土）14：00～16：00

○場 所：首里公民館 3階展示室

○参加者：34名（内見学：2名）

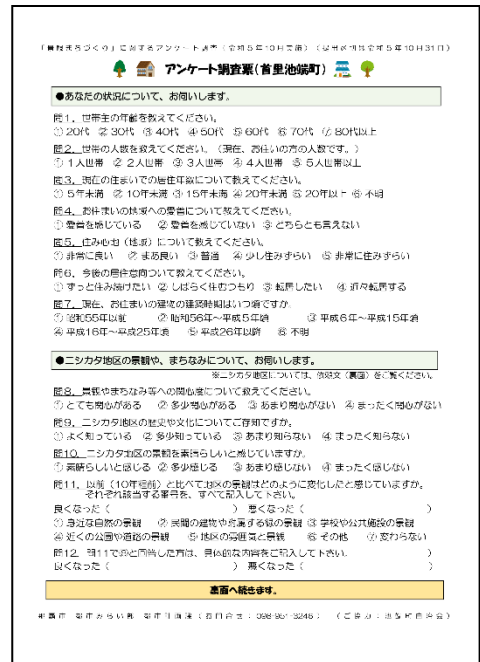
○内 容：

- ・アンケート結果の報告を挟みながら3つのテーマについて、グループワーク形式で「ゆんたく」を行い、その内容を発表しあった。

- ①身の回りの景観について
- ②景観に係るルール導入の必要性について
- ③地区の名称と、その範囲について

○概 要：

- ・ゆんたく会終了後のアンケートでは、参加者の殆どが、「満足」「ほぼ満足」と回答。
- ・景観はもちろんのこと、地域の安心・安全に関心を持っていることが分かった。
- ・地域の方々と景観に関する考えや課題を共有することができた。



▲アンケート調査票



▲ニシカタ地区の範囲



▲景観まちづくり かわら版

■令和5年度の成果及び次年度以降の取り組みに向けた課題の整理

【令和5年度の成果と課題】

(成果) 都市景観形成地域の拡充にあたり関係権利者となる戸建て住宅及び、分譲マンション管理組合を対象にアンケートを配布し、景観に関する意識等を確認することができた。

また、当該調査結果の報告を兼ねて、アンケートの回答者を中心に、関係団体及び那覇市でゆんたく（意見交換）会を開催したことで、地域と行政とで価値観や課題を共有することができた。

(課題) 都市景観形成地域（重点地区）は、整備基準などに関して関係権利者となる住民等から広く意向を聴取し、趣旨を理解していただき、その内容に同意した上で指定する必要があるが、今回、確認できた地域の意向は限定的（回答率：32.7%）であったことが課題となっている。

また今後、アンケートに回答をいただけなかった方を含めた住民等の意向聴取や共通理解、合意形成について、より一層、具体的な手法検討や作業が必要となることから、多大な労力と時間を要することが課題であると確認できた。

【次年度以降の取り組みについて】

「景観に関するアンケート」、「ゆんたく会」の実施により、関係権利者となる住民の意見聴取や、課題等の共有を図ることができたが、その対象は限定的であった。

今後は、意向を確認できなかった方々も含め、指定範囲や詳細な整備基準等に関して、より具体的に調整を進める段階に移行する必要があることから、次年度以降は、その準備期間とし、本市内部での取り組みとして課題解決を含めた今後の対応について見直しを図る。

なお、関連団体、自治会等とは引続き、意見交換・情報共有を図っていく。

【テーマ2】 地域資源案内検討

■基本情報

テーマ	地域資源案内検討
-----	----------

■テーマ活動の基本情報

部会	景観・歴史文化部会
ゴールの設定 (テーマ活動の目的)	・首里社地区における案内板やサインのグランドデザインを策定し、調和がとれた機能的なサインにより、来訪者や地域の子供たちが首里をよりよく知ることのできる環境をつくる。
今年度目指す 具体的な成果	・案内板やサインの設置対象候補を整理し、設置に向けて各主体へ共有、提言する。(仮)
今年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・首里エリア全体の案内板やサインの改善、整備に向け、対象箇所や表示内容を検討する。 ・検討作業中の首里城公園内案内サイン基本計画を参考にするため確認する。 ・過年度の地域資源調査も踏まえ、点在する地域資源等の案内や誘導を踏まえた、生活エリアと観光エリアのゾーニングや、望ましい周遊のあり方についても検討する。

■テーマ活動の企画

活動回数	計2回	
第1回	活動内容	地域資源、既存案内板の現状把握の上、誘客するポイント・しないポイントに仕分けする。首里城公園内案内サイン基本計画委託内容について考え方を知る。
	獲得成果のイメージ	昨年度地域資源調査等を参考にMAPを作成しておき、A：積極的に誘客 B：MAPで表示する程度で誘客はほどほど C:あえて誘客しないに仕分けすることで、ゾーニングのイメージをつかむ。
	活動場所	首里公民館会議室
	活動日時・時間帯	10月～11月内に開催、土日いずれか、14:00～17:00を想定
	必要な資材等	マイマップ作成のためのPC、スマホ、A0に出力した地域資源MAP 1枚、A1サイズをざっくりエリア別に4～5枚、付箋紙等
	その他	スプレッドシート上でリストを管理。仕分け結果も同じスプレッドシート上に記入。エリアを視覚的に理解できるように、グーグルマップのマイマップを作成して共有。リストとマップの2種類で情報を整理する。
第2回	活動内容	案内板・解説版に掲載する情報の整理とITツールとの連動について
	獲得成果のイメージ	首里城公園内案内サイン基本計画と現状の各案内表示を比較し、サインに掲載する情報を整理する。またサインとグーグルマップ等ITツールを連動させた活用法を考える。
	活動場所	首里公民館会議室
	活動日時・時間帯	12～1月内に開催、土日いずれか、14:00～17:00を想定
	必要な資材等	PC及び画面投影機材、マイクスピーカー、紙配布資料
	その他	「望ましい周遊とは何か」を議論する際、誰にとって望ましい周遊なのか、周遊を促す効果的な手段、経済波効果といった視点も加える

■【地域資源】第1回記録

○日時：2023年11月19日（日）13:30～15:00

○場所：首里杜館 B1 階ガイダンスホール

○参加者：30人

○概要：

13:30～ (株)国建、沖縄県首里城復興課・南部土木事務所、那覇市道路建設課、首里まちづくり研究会から、案内板やサインに関するこれまでの取組について説明

14:00～ 参加者によるワークショップ（資源調査マップを参考に、誘客するポイント、しないポイントなどの整理）

○活動の様子：

シリーズ② テーマ「地域資源」



令和5年度 首里杜まちづくり推進協議会 テーマ活動 シリーズ②
地域資源案内のあり方検討
ワークショップ

2023.11.19 (日) 13:30～15:00

事前申込制 最大40名まで
首里杜館 B1ガイダンスホールにて
※全2回予定。次回→12.17(日)

最大入場人数に達した場合、予備的な受付移動の可能性があるため予めご了承ください。

＜W（ワークショップ）の目的＞
首里杜地区における案内板やサインのランドデザインを決定し、調和がとれた機能的なサインにより、来訪者や地域の子供たちが首里をよりよび知る事ができる環境づくりの提案を目指します。

■第1回ワークショップでは、首里城公園内案内サイン計画状況を把握し、調査を行った地域資源情報（既存の案内板）のMAPを元に、周遊路線のプランニングについて話し合います。
13:30～15:00 首里杜館B1ガイダンスホール
→スクリーンで資料を投影しつつ、机上配布のリストMAPを協議
和したデザイン、ITツールとの連動や活用方法について話し合います。

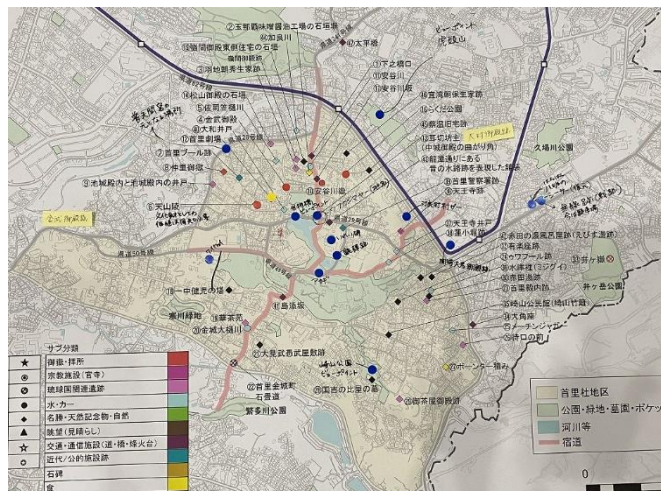
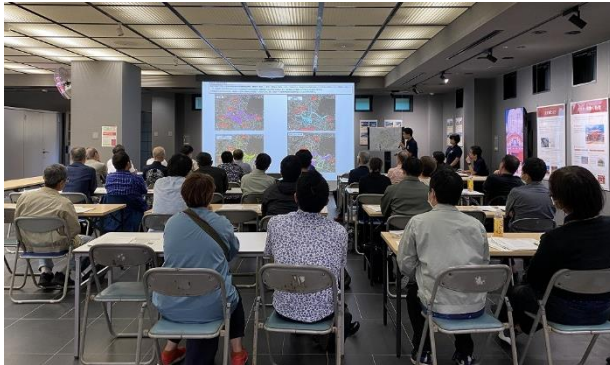
■第2回ワークショップでは、案内板・解説版に掲載する情報の整理や調和したデザイン、ITツールとの連動や活用方法について話し合います。

住民・行政・関係者でつくる「首里杜まちづくり推進協議会」の活動として、①地区資源案内検討
令和5年度は4つのテーマ活動を ②地区交通の検討
実施します。 ③龍潭周辺の全体利用のあり方検討

主催
首里杜まちづくり推進協議会（泉鏡・歴史文化部会）

担当事務局
・首里杜地区まちづくりの団体連絡協議会（窓口）NPOの法人 首里まちづくり研究会
・沖縄県首里城復興課
・那覇市都市計画課

※交通機関を利用の上、ご来場ください。
※当日体調の悪化は参加をお控えください。



■【地域資源】第2回記録

○日時：2023年12月17日（日）13:30～15:30

○場所：首里杜館 B1 階ガイダンスホール

○参加者：32人

○概要：

13:30～ 開会挨拶と前回の振り返り、(株)SCSKによるDX活用による資源案内の事例を説明

13:50～ 参加者による意見交換（案内板等の整備における基準案などについて）



シリーズ② テーマ「地域資源」

令和5年度 首里杜まちづくり推進協議会 テーマ活動 シリーズ②

地域資源案内のあり方検討ワークショップ その2

2023.12.17 (日) 13:30～15:00

事前申込不要！ 首里杜館 B1ガイダンスホールにて

※全2回（今回が最終回となります）

会場規模は最大50名までとなります。みなさまご参加の場数を増やすため、お気軽にご参加ください。

<WS（ワークショップ）の目的>
首里杜地区における案内板やサインのランドデザインを策定し、調和がとれた機能的なサインにより、来訪者や地域の子供たちが首里をよりよく知る事ができる環境づくりへの投資を目指します。

■第1回ワークショップでは、首里城公園案内サイン計画状況を把握した上で、調査を行った地域資源情報（既存の案内板）のMAPをもとに、案内したい資源について話し合いました。

■第2回ワークショップでは、ITツール活用事例の紹介のほか、案内する地域資源を選定するための客観的な指標の設定、交通課題と重ね合わせた観光事項の整理、望ましい商店の在り方などについて話し合います。

■スライドで資料を投影しつつ、机上配布のリストとMAPで協議

住民・行政・関係者でつくる首里杜まちづくり推進協議会の活動として、
令和5年度は4つのテーマ活動を実施します。

①エシカダ地区まちなみづくりの検討
②地域資源案内検討
③地区交通の検討
④龍潭周辺の全体利用のあり方検討

主催
首里杜まちづくり推進協議会（泉鏡・歴史文化部会）

担当事務局
・首里杜地区まちづくり団体連絡協議会（窓口）NPO法人 首里杜まちづくり研究会
・沖縄県首里城復興課
・那覇市都市計画課

※交通機関をご利用の上、ご来場ください。
※当日体調の優れない方は参加をお控えください。

○活動の様子：



■【地域資源】令和5年度の成果及び次年度以降の取り組みに向けた課題の整理

(1) 令和5年度の成果と課題

(成果)

- ・首里城公園内のサイン基本計画と龍潭・当蔵通りの新設及び改修サイン計画の共有を図り、地域団体で調査した新たな地域資源を活動参加者へ展開し、誘客するポイント、しないポイントを整理しつつ、関係者内で那覇市が整備している歴史散歩道事業や大中細街路事業などの確認をすることができた。
- ・協議した地域資源の活用方法について、那覇市観光協会「まちまーいガイド」へ今後の新コースの検討、検証を図ることができた。また、誘客してほしくないポイントや資源などの意見も共有、確認することができた。
- ・ITの活用など案内手法についても意見交換ができた。

◇作成物

- ①地域資源マップ：これまでの資源マップに、資源を追加。また、誘客する・しない資源を分類（一部）
- ②サイン整備に向けた評価分類シート（案）：たたき台をもとに意見交換

(課題)

- ・活発な議論で様々な具体的な要望が出たが、新たなサイン（説明版）設置やIT活用などを今回の一部の地域住民意見だけで事業化（予算化）するには、まだまだ不十分という認識も残った。また、その資源を整理する為の調査フォーマットも様々な見解があり、継続協議する必要がある。生活エリアと観光エリアのゾーニングについても、単純に資源の重要度による色分けだけではゾーンの棲み分けが困難であり、継続協議が必要という意見が纏めとなった。

(2) 次年度以降の取り組みについて

- ・沖縄県、那覇市として、各々の専門分野の担当（課）を適材適所で協議メンバーに入りつつ、資源のサイン設置については、有識者を交えつつ、協議を深める。
- ・また、周遊の在り方についても継続協議とし、令和8年度までに取り組むべき案件と将来に向けて検討していくものを棲み分けし、官民一体となった合意形成を図っていく取り組みを行いたい。

【テーマ3】 地区交通の検討(観光交通コントロール/地区ゾーニング)

テーマ	地区交通の検討（観光交通コントロール/地区ゾーニング）
-----	-----------------------------

■テーマ活動の基本情報

部会	暮らし・生活環境部会
ゴールの設定 (テーマ活動の目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・首里城周辺における交通混雑等の状況を踏まえ、地域住民及び観光客の安全性の確保、利便性向上等の観点から、首里杜地区全体におけるよりよい交通環境を創出するための施策について検討する。 ・公共交通の促進に資するため、持続可能な公共交通のあり方についてとりまとめる。
今年度目指す 具体的な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・首里杜地区における交通課題を抽出し、課題解決に向けた対応策等について各主体へ共有・提言する。(仮)
今年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県で実施中の交通関連調査検討内容を共有。 ・バス予約システムの効果や課題の注視(定期的に共有) ・その他観光交通をコントロールする手段や対応策、公共交通のあり方をWS形式で検討。 ・過年度の地域資源調査も踏まえ、点在する地域資源等の案内や誘導を踏まえた、生活エリアと観光エリアのゾーニングや、望ましい周遊のあり方についても検討する。

■テーマ活動の企画

活動回数	2回	
第1回	活動内容	<ol style="list-style-type: none"> ①沖縄県観光振興計画について説明(県) ②地域から見た交通環境について(地域) ③渋滞状況分析の説明、首里杜地区整備計画における交通対応施策体系と取り組みフローの説明(国建) ④進行中の対策事業であるバス予約システムに関する情報提供(県) ⑤中・長期的な将来像と解決策のイメージ出し(地域司会/人数によりグループワーク)
	獲得成果のイメージ	交通の問題点と課題を共有し、「観光交通コントロール」を主眼に関係者で中・長期的目標像とそれに向けた解決策を考える。また10年間の取り組みについて認識を共有し、意見交換する。
	活動場所	首里公民館会議室
	活動日時・時間帯	11月内 土日のいずれかで、14:00~17:00を想定
	必要な資材等	首里杜地区平面図A1、A3 付箋紙等
第2回	活動内容	<ol style="list-style-type: none"> ①前回のおさらい(地域) ②解決策の実現にむけた話し合い(できることはいつやるのか。できないことがあるなら障害は何か。各解決策の実現のために行政、住民、他がすべきことは何か)(地区ゾーニングも念頭におき、具体的な方策に結び付ける) <p>※短期的取り組みについても検討 ※いくつかのテーマに分け、グループワーク</p> <ol style="list-style-type: none"> ③まとめ
	獲得成果のイメージ	交通安全、渋滞対策、モデル周遊観光ルートに対する各々の立場からの現状課題とその取り組み内容又は解決案をWSで取り纏めて発表する。
	活動場所	12月内 首里公民館会議室
	活動日時・時間帯	12月内 土日のいずれかで、14:00~17:00を想定
	必要な資材等	首里杜地区平面図A1、A3 付箋紙等

■【地区交通】第2回記録

○日時：2023年12月9日（土）13:30～15:00

○場所：首里公民館3階視聴覚室

○参加者：40人

○概要：

13:30～ 第1回交通テーマ活動の振り返り及びSCSK(株)よりITを活用した地域交通課題解決の参考事例紹介

14:30～ 意見交換（中長期目標像とそれに向けた課題解決策について＜交通混雑対策や歩いて回れる首里、安全安心な交通環境など＞）

○活動の様子：



シリーズ③ 交通

令和5年度 首里まちづくり推進協議会 テーマ活動 シリーズ③
地区交通の検討ワークショップ

2023.12.9 (土) 13:30～15:30

参加無料 申込不要 首里公民館3階視聴覚室にて

～どなたでもご参加可能です、地域の意思で首里を変えよう！首里が変わる！～

首里村地区では、オーブータンズによる交通混雑が大きな問題となっています。改善に向けては、暮らしと観光の両面からの交通環境の持続的な改善が必要と考えられ、行政・地域が緊密に連携している状況です。

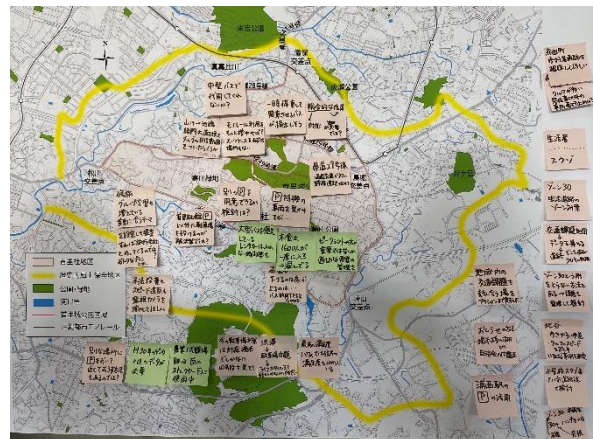
第1回ワークショップでは、各主体から、交通に関する施策の検討、テーマ、地域の交通環境改善の考えを共有しつつ、中長期的な目標像と課題抽出のためのテーマを設定します。

第2回ワークショップでは、現地の課題、その解決策について話し合い、とりまとめを行います。

13:30～14:00 前回の振り返りと参考事例の共有
 14:00～15:30 中長期的な将来像や解決策について意見交換

住民・行政・事業者の協働によるワークショップの検討
 2次調査結果の検討
 中長期交通の検討
 各主体の意見の共有

主催 首里まちづくり推進協議会（SCSK、生活協賛会）
 担当 事務局
 出席者 首里村地区まちづくり委員
 協議会（窓口）、関係法人
 首里まちづくり研究員
 ・非営利公益法人の協賛
 ※交通福祉を利用の上、ご来場ください。
 首里公民館3階視聴覚室にて参加ください。



■【地区交通】令和5年度の成果及び次年度以降の取り組みに向けた課題の整理

(1)令和5年度の成果

- 県で実施した過年度の交通関連調査や今年度(R5年度)実施している事業の取り組み内容や ICT を活用した地域交通課題の参考事例等を共有するとともに、バス予約システムの現時点における効果・課題等の共有を行い、地域住民および関係者間で理解を深めることができた。
- 交通混雑対策や安全安心な交通環境の実現に向け、ゾーン 30 プラスの導入提案などがあり、道路の安全性を担保しつつレンタカーの動線を誘導していくような取り組みについて参加者間で議論ができた。
- 今年度の活動内容として点在する地域資源等の案内や誘導を踏まえた生活エリアと観光エリアのゾーニングや、望ましい周遊のあり方を掲げていたが、エリアを区分することの難しさに加え、時間的制約があったことから検討までには至っていない。

(2)次年度以降の取り組みについて

- 引き続き交通課題の解決についてテーマ活動を継続していく必要がある。
- 活動の方向性として、令和8年度(正殿完成)以降の観光客数回復を見据えて、首里杜地区整備基本計画に掲げた“暮らしと観光の両立”を目指すため、観光動線の誘導や生活空間のゾーニングが必要である。ただし、面的に観光と生活のエリアを分けることは難しいため、路線ごとの性格を色分けすることが考えられる。
- 活動に参加する住民が限られており、地域の総意をまとめることの困難さもあった。ゾーニングや地域資源活用は字ごとに議論すべきとの意見もあり、活動の進め方は工夫が必要である。
- また、地域住民及び観光客の安全性確保及び利便性向上を図るため、望ましい周遊のあり方等の視点も踏まえ、首里杜地区に適した公共交通や実現の可能性についての意見交換も引き続き行う。

【テーマ4】 龍潭周辺の全体利用計画検討

テーマ	龍潭周辺の全体利用計画検討
-----	---------------

■テーマ活動の基本情報

部会	暮らし・生活環境部会
ゴールの設定 (テーマ活動の目的)	・龍潭一帯が、歴史的な空間であるとともに地域の暮らしや生活環境に溶け込んだ場となるような整備と利用をめざす。
今年度目指す 具体的な成果	・龍潭周辺全体の利用計画(案)をとりまとめ、整備や管理や利用にかかる各主体へ共有・提言する。(仮)
今年度の活動内容	対象：龍潭周辺(主に首里城公園内) ・現状・課題の確認(現地調査/管理者ヒアリングによる管理上の問題点、利用者ニーズの確認) ・公園整備計画・関連整備事業の確認 ・望ましい整備・利用のありかたのまとめ ・その実現に向けた活動計画の作成

■テーマ活動の企画

活動回数	2回	
第1回	活動内容	①室内にて、本日の趣旨と流れの説明(地域) ②公園基本計画と龍潭線整備状況の説明(県)。 ③関連整備事業(松崎馬場など)の説明(県) ④現地に移動し、利用者の感じている問題点やニーズ、管理者ヒアリングで確認した問題点などを確認する。 ⑤室内に戻り、課題やニーズを出し合う。(人数によりグループワークとする)
	獲得成果のイメージ	現状の管理上の問題点や利用者ニーズを洗い出し、共有する
	活動場所	龍潭現地及び首里公民館会議室 ※城西小体育館も利用可能か確認
	活動日時・時間帯	10月11月の土日のいずれかで、16:00~18:00現地確認を想定 18:00~19:00でとりまとめを想定
	必要な資材等	現況平面図A1、A3、白模造紙、付箋紙、マーカー等
第2回	活動内容	①前回のおさらい ②事務局で整理した「整備・利用のあり方(地域要望)」の確認
	獲得成果のイメージ	・龍潭周辺全体の利用のあり方(案)をとりまとめ、整備や管理や利用にかかる各主体へ共有・提言する。
	活動場所	首里公民館会議室 ※城西小体育館も利用可能か確認
	活動日時・時間帯	12月の土日のいずれかで、14:00~16:00を想定
	必要な資材等	現況平面図A3、プロジェクター、スクリーン 等

■第1回記録

○日時：2023年10月24日（火）16:00～19:00

○場所：首里公民館1階ホール

○参加者：44人

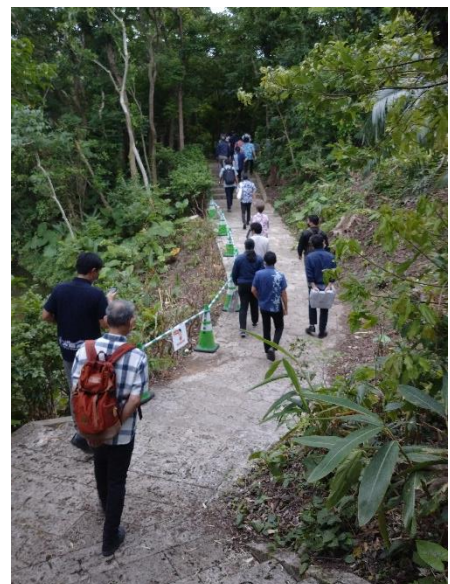
○概要：

16:00～ 沖縄県都市公園課・南部土木事務所から、都市公園利用ルールや、龍潭・龍潭線などの整備計画について説明（首里公民館）

17:00～ 龍潭周辺現場確認

18:00～ 龍潭周辺整備のあり方について意見交換（首里公民館）

○活動の様子：



シリーズ④ 龍潭

令和5年度 首里まちづくり推進協議会 テーマ活動 シリーズ④

龍潭周辺の全体利用のあり方検討ワークショップ

2023.10.24 (火) 16:00～19:00

参加無料 申込不要

首里公民館1階ホールにて ※全2回予定。次回→12月吉日

龍潭とその周辺は、首里城公園の一部として整備・管理されています。歴史的景観をつくる重要な存在であり、また地域の憩いの場として親しまれてきた場所ですが、地域住民からはもっと身近に活用したいという声もあがっています。第1回ワークショップでは、公園を管理する外環団から、今後の整備計画について報告するとともに、参加者が実際に現場を訪れて問題点や課題を確認します。

16:00～18:00 公開総会後、龍潭周辺の現地確認
18:00～19:00 現地確認結果の共有とまとめ
第2回ワークショップでは、暮らし利用のあり方を話し合い、地域からの提案書を作成します。

住民・行政・関係者でつくる「首里まちづくり推進協議会」の活動として、令和5年度は4つのテーマ活動を実施します。

- ①シニカ地区まちなみづくり検討
- ②地域資源活用検討
- ③地区交通の検討
- ④龍潭周辺の全体利用のあり方検討

主催 首里まちづくり推進協議会（青い・生活環境部会）
担当事務局 首里地区まちづくり団体連絡協議会（窓口：NPO法人 首里まちづくり研究会）
沖縄県首里城復興課

※交通機関をご利用の上、ご来場ください。
※当日体調の優れない方は参加をお控えください。

■第2回記録

○日時：2023年11月25日（土）13:30～15:40

○場所：首里公民館2階ホール

○参加者：27人

○概要：

13:30～ 趣旨説明

13:40～ 沖縄県からの情報提供

14:00～ 龍潭周辺について「整備・利用のあり方（地域要望）」のとりまとめ

○活動の様子：



シリーズ④ 龍潭



令和5年度 首里城まわりの推進協議会 テーマ活動 シリーズ④
龍潭周辺の全体利用のあり方検討
ワークショップ

2023.11.25 (土) 13:30～15:30

参加無料
申込不要

首里公民館2階会議室

※全2回予定。第1回：10月24日

開催の趣旨は、首里城公園の一部として整備・管理されています。歴史的価値を伝える重要な存在であり、また地域の賑わいの場として親しまれたいと願っていますが、地域住民からはもともと家庭の近所というイメージがあります。

第1回ワークショップでは、公園を管理する沖縄県から、今後の整備計画について報告するとともに、参加者が実際に現地を巡り課題や要望を伺いました。

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップの報告を踏まえ、望ましい龍潭周辺の利用のあり方を話し合い、地域からの意見を整理します。

・第1回の振り返り（一編からの情報提供）
 ・「整備・利用のあり方（地域要望）」のとりまとめ

生後一行政・関係者である 首里村（龍潭が地区まわりのづくり検討まわりの推進協議会 協賛施設として）
 令和5年度は4つのテーマ活動として
 ・龍潭周辺の全体利用のあり方検討
 ・龍潭周辺の全体利用のあり方検討
 ・龍潭周辺の全体利用のあり方検討
 ・龍潭周辺の全体利用のあり方検討



■【龍潭周辺の全体利用】令和5年度の成果及び次年度以降の取り組みに向けた課題の整理

(1) 令和5年度の成果

龍潭に関する地域住民の思いや活用に関する希望・提案を、関係者間で共有できた。また現在の利用ルールを確認するとともに、龍潭の整備等に関する事業計画を共有した。

テーマ活動で出された主な意見は以下である。

- ・活用の幅を広げ、もっと人が集まる場としたい
- ・明るく近寄りやすい環境に改善したい
- ・バリアフリー動線を確保したい

意見をもとに、さらに専門家との意見交換を行いながら地域で「龍潭周辺の整備・利用のあり方」(別紙)をとりまとめ、首里杜まちづくり推進協議会に報告する。

(2) 次年度以降の取り組みについて

令和5年度の成果をもとに、沖縄県都市公園課、首里城公園指定管理者、その他関連部局において龍潭等の整備や管理についての検討・事業を進める。またその進捗については適宜首里杜まちづくり推進協議会などの場で報告し、意見交換を行う。